

消防団 ネット in 川口

平成 30 年 3 月 31 日

第 55 号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 金子 利夫

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

支団車庫紹介

どんな設備や装備があるのかな？

第 2 支団 第 1 分団 部長 岡野 輝正

第 1 分団の車庫は横曽根図書館の近くにあります。2 階建てで 1 階はポンプ車の倉庫と物置とトイレがあります。駐車場はありません。横曽根分署も近いです。変形交差点に建っているなので、車両の出入りには十分注意が必要です。

第 2 支団第 1 分団は、支団長をはじめ 21 名で西川口駅から川口駅の西口を中心に活動しています。車庫には半鐘と纏があります。大先輩が使っていた物を今は大切に保管しています。

そして、車庫の 2 階で団員同士の意見交換をしながら団結を深め、伝統ある第 2 支団第 1 分団、第 2 分団で地域の安全を守って行く事が、伝統ある 2 支団全員で守りたいです。



第 2 支団 第 2 分団 団員 小貫 好弘

第 2 支団第 2 分団車庫は、川口駅西口の飯塚二丁目の住宅地の中にあります。現在所属する団員は全部で 16 名です。

昭和 43 年に竣工され鉄筋コンクリート造の 2 階建ての車庫になりますが、2 階には二間とキッチン、トイレがあります。

もう 50 年近く経ちますので老朽化は否めませんが、地域防災の要としてポンプ車両や設備を雨風から守ってくれています。

また、毎年 12 月に開催されます飯塚熊手市の際には、警備本部として車庫を利用し、1 分団 2 分団のメンバーが集まって祭りの際の非常事態に備えます。



震災消防総合演習

7支団第2分団 団員 田口 明文

我々第7支団は、『震災時河川活用訓練』《川の消火基地 伝右川》の演習を実施致しました。

08:30 分団車庫出発。

消防車と一般車両に分乗して、戸塚環境整備センターを目指します。我分団からですと、10分強で到着してしまいます。

前半実施隊である我々は、相方の7-1分団の到着を暫し待ちます。

程なくして、相方である7-1分団と川口市消防局 神根分署・伊刈分署の隊員が合流。

神根分署副分署長から本演習の大まかな説明が為された後、実施場所であります《川の消火基地 伝右川》を車両隊と徒歩隊に分かれて出発。

09:00 《川の消火基地 伝右川》にて演習開始。

先ず、神根分署の給水ポンプ機が伝右川からの水を吸い上げ、6本120メートル延長されたホースが我が7-2の消防車に送水されます。そこから5本100メートル延長されたホースで7-1の消防車へ送水され、更にそこから5本100メートル延長されたホースから放水して、伝右川に水は戻されます。そんな訓練を約30分行いました。

沿道には、たくさんの住民の方々が興味深げにご覧になっていました。お孫さんを連れて散歩途中の方や消防車が好きなお子さんを連れて見学される方など消防団と市民の方の良いコミュニケーションの場になったと思います。

これらは三領公園等での訓練と違い、会場が市民の方々と近かった事が原因かと思えます。

私を含めましてかなりの団員達が住民の方から質問攻めに有った事かと存じます(笑)

その後、今回の訓練のメインでもあります「フローティングトレーナー」の実用訓練。

「フローティングトレーナー」は、浅い水理や水底に堆積物が多い場所でも吸水可能との事。こちらの訓練も約10分程行いましたので、予定時間を大幅に過ぎて震災時河川活用訓練を終了。

出発地点の戸塚環境整備センターへ徒歩で戻り、車輛に乗り込んで分団車庫へ地域の被害状況を確認しながら帰隊。

分団車庫へ戻ってからは、検討会を行いました。

ここ最近毎回話題に上っているのが、無線の感度や救急箱(中身)の消費期限の問題等が取り上げられていました。

そんな検討会を含めまして約4時間弱の「川口市震災消防演習」を無事終える事が出来ました。

今回の訓練は、地元にある河川を水理として利用した”より”実戦に近い訓練だったので非常に意義深い訓練だったと個人的に思いました。



第11支団では、各分団の車庫に参集し、無線機の訓練後、新芝川のあずま橋脇、朝日環境センターの向かい側から、川の水による放水訓練を執り行いました。寒いのは当たり前、どんな環境下であっても、災害は突然発生しますから、どのような状況でも冷静且つ適切な対応ができるように、このような訓練は欠かせません。

親睦やかた船

第1支団第1分団 班長 井口 直也

去る3月18日(日)に第1支団では団員の交流会を実施いたしました。今回は月島のもんじゃ船を1艘借り切るという豪華企画でした。日頃お世話になっている消防署員の方々にもご参加いただいて総勢49名の賑やかな親睦会となりました。新木場からもんじゃ船は出航、もんじゃ・お好み焼き、焼きそばは食べ放題・飲み放題の約2時間でとても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。特に署員の方々のパフォーマンスの『日体大のエッサッサ』は超盛り上がりしました。署員の方々との交流も十分に図れたので、とてもいい企画だったと思います。



入退団者紹介

平成30年3月31日退団者

長年お疲れ様でした

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 金子 利夫 (団本部) | 8 江原 晴夫 (3-3) |
| 2 松本 清 (団本部) | 9 菊地 一男 (6-2) |
| 3 清水 茂 (2-2) | 10 磯野 修也 (7-2) |
| 4 土手 一正 (2-2) | 11 高橋 憲司 (9-1) |
| 5 大槻 元治 (3-1) | 12 新井 勝治 (9-2) |
| 6 沖田 宏司 (3-1) | 13 谷田 一弘 (9-2) |
| 7 飯野 和也 (3-2) | 14 高野 浩一 (10-3) |

平成30年4月1日入団者

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 芝崎 充伸 (1-1) | 6 関野 太樹 (2-2) |
| 2 久保田 慎吾 (2-1) | 7 鈴木 明広 (2-2) |
| 3 村田 勇斗 (2-1) | 8 田口 真孝 (3-3) |
| 4 矢島 剛 (2-2) | 9 畠山 龍 (4-1) |
| 5 今泉 尚之 (2-2) | 10 芳賀 作之介 (7-1) |

瑞宝単光章を受章

平成29年11月3日に木内元副団長が『平成29年秋の叙勲』で瑞宝単光章を受賞しました。
平成29年11月14日にニッショーホールにて叙勲伝達式を実施いたしました。

新入団員紹介

新入団員の皆様を順次紹介しています

第11支団第3分団 鈴木 大輔 (すずき だいすけ)

私が消防団に入団を決意した理由には、私自身が地域の方の役に立てるような事が出来たら良いと考えていたところで、地域の方からお誘いを頂いたからです。近年は多くの震災や災害が起こっており、身近に起こる災害や火災に対しては、自分自身が微力ながら消防団員としてお役に立てれば良いと思っています。その為には、積極的に消防団の活動に参加し、色々な方からご指導を頂き現場で活躍出来るように日々努力していこうと思っています。



.....

【編集後記】

第1支団第1分団 班長 井口 直也

今年の3/31で広報委員の2年間の任期が切れます。この団ネット55号が今回のメンバーの最後の発刊となります。広報推進委員の皆様 2年間大変お疲れさまでした。
また4月より新メンバーでスタートしますが、長年培ってきたノウハウはしっかりと伝授したいと思っています。
今度とも支団の情報などをわかりやすく発信していきたいと思いますので、皆様方のご協力のほどよろしく願いいたします。

次号は6月ごろ 発行予定です

